

信州大学医学部にて 過去に臨床研究に協力された方へ

2025年 9月 12日

信州大学医学部保健学科 准教授 樋口 由美子

「消化器がんにおけるシトルリン化フィブリノゲンの動態」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会で審議され、医学部長の承認を得ています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5167
研究課題名	消化器がんにおけるシトルリン化フィブリノゲンの動態
所属(診療科等)	医学部保健学科
研究責任者(職名)	樋口 由美子(准教授)
研究実施期間	研究機関の長による許可日～2026年3月31日
研究の意義、目的	血液中のシトルリン化フィブリノゲンが、消化器がんの臨床病態と関連があるかを検討します。また、シトルリン化フィブリノゲンや細胞外核酸が、がん患者に対する白血球に与える影響を調査します。新しい検査法の開発に役立つ可能性があります。
対象となる方	比較対象として健常人の血液を必要とするため、研究課題名「健常成人ドナーの細胞を用いたキメラ抗原受容体発現遺伝子改変 T 細胞療法の開発」(倫理審査承認番号:4816)における、臨床検体の残余検体を二次利用させていただきます。また、研究課題名「血液中シトルリン化ヒストン測定法の検討」(倫理審査承認番号:4760)における 20 歳以上の健常成人残余検体も二次利用させていただきます。
利用する検体	血液
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	白血球機能検査に関して必要な試料は、株式会社 GF Mille から郵送により提供を受けます。
研究方法	残余検体の二次利用により、シトルリン化フィブリノゲンや細胞外核酸刺激後の白血球への影響を検討したり、シトルリン化フィブリノゲンおよびその関連蛋白を測定します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	株式会社 GF Mille (責任者:茶野 徳宏)

研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:樋口 由美子
問い合わせ先	氏名(所属・職名):樋口 由美子(医学部保健学科・准教授) 電話:0263-37-2390

本研究における血液は残余検体の二次利用であり、本研究は研究費により研究、調査、集計されますので、ボランティアドナー様の負担が増加することはありません。

ドナー様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際もドナー様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。